

# ★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>



223号

2020年4月30日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 新航空路運用に抗議

川崎市長は3月26日、羽田空港新飛行経路の運用に関する対応について、東京都の大田区長とともに、赤羽一嘉国土交通大臣あてに要望書を提出しました。東京連絡会や羽田問題を解決する会なども抗議し、対処を考慮中。

4月26日(日)TBS噂の東京マガジンでは「～超低空飛行に都民あ然！羽田新ルート問題～破られた約束～」と銘打って番組で過去6回にわたり取り上げた羽田空港新ルート運用計画問題を総集編として放送しました。

<https://twitter.com/bettybeat/status/1254285335749472257?s=20>

### ○ 便数激減でも意地で飛ばす国交省

日航も全日空も外国の航空会社も90%近くの減便だということに、意地でも新航路を定着させようと、晴れた日も曇りの日も、嫌な轟音が常盤台の空に響いています。従来、海から海へで充分なのに。

### ○ 飛行機の排ガス減少は歓迎なのに

3月のロサンゼルスは、1995年以降では最も長く空気がきれいな日が続いたという。ヒマラヤが遠くから見えるようになったり、飛行機が原因の大気汚染があきらかになりました。

オランダ航空は13日、温室効果ガス排出量が多い飛行機より鉄道を利用してもらおうと、アムステルダムとブリュッセル間の減便を発表。地球温暖化防止のため同様の動きが広がっています。それなのに板橋区の上空は飛行機の排気で汚れてくるわけです。

### ○ 「図書館跡地に音楽ホールを！」署名提出しました

4月27日(月)区長宛ての署名を政策企画課の田島係長に手渡しました。板橋区住民で音楽家の滝澤・松原・倉澤の諸氏がそれぞれ板橋区の音楽設備の実態と思いを述べ、区長への直接の面談と、常盤台住民への6月以前の説明会の開催を求めて来ました。区長はこういう区民の要請に応える義務があるはずで。

このコロナ騒ぎのせいで、音楽関係の集まりが殆ど中止、という悪条件の中で、2,228名もの署名が集まりました。まずは民意を示せたと思います。特に地元の常盤台1・2丁目は935名にのぼりました。まだ署名していない方はぜひご賛同・ご署名ください。累積していきます。

### ○ 建築基準法の但し書き

この建築を建てようとしている場所は常盤台公園の中ですが、図書館を建てた後、区が土地を分割しているため、関係する法律は公園法ではなく、第一種低層住居専用地域に関するものとなります。

建築基準法第48条には、

「第一種低層住居専用地域においては、別表第二(イ)に掲げる建築物以外の建築物は、建築してはならない。」とある次に、

「ただし、特定行政庁が第一種住居専用地域における良好な住居の環境を害するおそれがないと認め、又は公益上やむを得ないと認めて許可した場合においては、この限りでない。」とあるのです。

ここに言う特定行政庁とは、東京都のことだと言う人がいますが、規模から言って板橋区であると政策企画課が認めています。

従って板橋区が認めさえすれば建つのです。



## 桜の折れ枝を老人ホームに

豊島病院の外れを通りかかったら、桜の大きな枝が前日の強風で折れてぶら下がっていました。花は満開です。勿体ないので病院の了解を得てNさんに車を出して貰い、北豊島工業高校そばの老人ホームに届けました。コロナ騒ぎでお花見もできないでいたお年寄りが、少しは楽しんでくれたでしょうか。

## コロナウイルスと大気汚染

米ハーバード大学J・E・チャン公衆衛生大学院の研究者の論文が注目されています。査読を受けて学術誌に発表されたものではありませんが、それによると、PM2.5と呼ばれる微粒子状の大気汚染物質を長年吸い込んできた人は、新型コロナウイルス感染症による死亡率が大幅に高くなるといいます。「汚染された大気を吸ってきた人が新型コロナウイルス感染症にかかったら、ガソリンに火をつけるようなものです」と、論文の著者、ハーバード大学の生物統計学教授フランチェスカ・ドミニチ氏は言っています。

## アベノマスクは二丁目だけ?

評判の悪いアベノマスクは、二丁目には配達されたようですが、一丁目にはまだ来ていません。安倍さんはテレビで、アゴにも届かないアベノマスク姿で会見しています。引込みがつかないようで気の毒ですが、ペーパーカンパニーに受注の税金が流れるなど、災害に便乗した詐欺が行われているとか。

## プロムナードの街灯

### 街路樹の葉が茂ったら

新しい街灯が設置されたのは昨年冬、冬の頃でした。街路樹は葉の無い状態だったので、6mの高さから照らせば充分両側の道は明るくなります。しかし、春・夏・秋の葉が茂っている状態では、葉陰に隠されて役に立たないものがあるので、切ってしまうか。その時、街路樹の枝葉を切って解決しようとするのではないかと懸念されます。それは本末転倒そのものです。街路樹との共存が困るのなら、はじめから道の両側に片側照射用の街灯を付けるべきです。今の行政の方針だと、管理しやすいから的一点張りなので、しまいには街路樹そのものを邪魔にするのでは無いかと心配です。

## 新型コロナウイルス給付金の使い道

この緊急事態で、様々な業種で若い人達や自由業や非正規雇用の人たちは深刻な状況でしょう。一律十萬円の給付金はスズメの涙です。

一方常盤台住民のなかには打撃が少ない人もいるのではないのでしょうか。その人達は辞退するのにも自由かもしれません、一応受け取って被害の大きい人の応援に使ってはどうか。元はといえば私たちが払った税金なのですから。

常盤台でも自主規制で商店は大きな打撃を受けています。工夫してお弁当・テイクアウトにしたりしているので協力したいですね。

## 常盤台公園のはなづくり

来年のチューリップの計画を立てています。センスの良い花壇が理想なのですが、これがなかなか難しい。

今年は密植しすぎたような気がしました。またカタログで見た花色と、実際とはだいぶ違ってしまい、かなりごちゃごちゃで賑やかな花壇になっていました。

来年の球根購入用に、マーマレードを作りました。いつもと同じAさんのお庭の無農薬の夏みかんを無添加で作っています。今年もお買い上げをよろしくお願います。七月の都知事選の時に、バザーをしますが、その際に売る予定です。その前にご入用の方はお知らせください。れば配達いたします。

Wさんが知り合いの農園でテントウムシとカミキリムシを見つけて、自然感を満喫したと写真を送ってきましたが、よく見るとあのクビアカツヤカミキリにそっくりです。教えてあげると、ビックリしたと返信がきました。知らなければ農薬の無い自然の象徴のように思ってしまうのでしよう。

クビアカツヤカミキリからバラを守るには、根元に産卵しないよう網をまきつけたり、糞や木くずを見つけたら幼虫を退治する薬に頼るしかないようです。

